

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
アサヒ飲料株式会社	代表取締役社長	岸上 克彦	東京都	製造業	https://www.asahiinryo.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	
-------	--

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力 ・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附随作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A	③	パレット等の活用 ・パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。
3	A	⑨	荷主側の施設面の改善 ・倉庫等の物流施設の集約・増設・レイアウト変更等を行い、荷待ち時間や荷役時間を短縮します。
4	A	⑩	リードタイムの延長 ・トラック運転者が適切に休憩を取って運行することが可能となるように、発着時刻としての出荷予定時刻を厳守します。 ・着荷先にて荷を待たせた到着時刻を認めることなどにより十分なリードタイムを確保します。
5	A	⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト ・長距離輸送について、トラックからフェリー、RO-RO船や鉄道の利用への転換を行います。この際に、運送内容や費用負担についても必要な見直しを行います。
6			

PR欄	<p>アサヒ飲料(株)の物流改善取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ■グループ各社(アサヒビール(株)・アサヒグループ食品(株)と協同し、モーダルシフト推進ならびに共同保管・配送の取組継続 ■2018年1月 群馬県館林市に新物流倉庫を建設し配送拠点再編し、車輛効率化を推進 ■2019年4月 配送リードタイム延長を開始し、計画的かつ効率的な車輛運用を開始
-----	--